

# 進路だより「<sup>さい</sup>犀」

進路だより 第3号  
令和6年10月21日  
大垣商業高等学校  
定時制進路支援部

## ○ 意識から無意識へ

10月から後期が始まりました。夏季休業明けの始業の会で、「頑張っている卒業学年の姿をよく見ておいてほしい」と言ったのを覚えているでしょうか。実際に、自らの進路実現のために一生懸命努力している人が多く見られ、後輩たちの良いお手本になっていると思います。努力をして成長を重ねながら進路を切り拓いていく姿は、本当に素晴らしいです。

支援、指導をしていて最近感じることは、「無意識に何かをできるようになるためには、相当の時間と労力が必要になる」ということです。

例えば、面接時に目が泳いでしまったり、普段の口癖が出てしまったりすることがあります。大抵一度では改善できません。何度も練習を重ねて、意識をして取り組む中で、ようやく意識をせずともできるようになります。

スポーツの動きや楽器の弾き方、皆さんに関わる例だと電卓やワープロの打ち方を思い浮かべてもらえば、分かりやすいと思います。正しい動きを身に付けるためには、最初は細かい動き方を常に意識して取り組まないといけません。

日常生活でも同じことが言えます。身につけてほしい習慣を以下にあげますので、現在できているかレ点をつけてチェックをしてみてください。



- 提出物は期限が来ていなくてもなるべく早めに出す。
- 時間に余裕をもって行動する。
- 毎日学校に出席をする。
- 家や学校、アルバイト先で元気よくあいさつをする。
- 細かいことでも報告、連絡、相談をする。
- 計画性をもって物事に取り組む。



チェックがつけられなかったものについては、これから意識をして取り組んでみましょう。最初は面倒に感じたり、苦痛に感じたりすることがあるかもしれませんが、そのうち無意識にできるようになり、習慣化していきます。

好ましい習慣を身につけることは、社会人への第一歩です。ぜひ無意識にできるようにして、周りから信頼される人になってほしいと思います。

## ○ 後期の進路行事予定

- 10月28日(月) 進路講話 岐阜協立大学 篠原 和之 様
- 1月24日(金) 卒業生と語る会



外部の方や、社会で活躍する卒業生から貴重なお話を聞く機会です。主体的に参加をして、分からないことは積極的に質問をしてみてください。